

これぞ
原点!!

イラスト



イラスト

イラスト

イラスト

イラスト

イラスト

イラスト

イラスト

イラスト

10代の頃からイラストを通して地域社会との繋がりを
持てたことは、私の人生において大きな財産です。
生意気な小娘たちと対等に話し合い、拙いイラストを
載せて経験をたくさん積ませて下さったこと、編集委員
や職員の方々、そして読者の皆さまに心から感謝します。
長い間、本当にありがとうございました! (五十嵐)

つぶやき
★今まぞ
★たくさんの
★イラスト投稿
★本当に
★ありがとう
★ごぞいませー!!

最後のTAEヒント!

イラストスクランブル
投稿作品チェック風景

うわっ
今の小学生
絵うまっ!!

この色使い
独特で
いいなあ

私に言えること
あるんか...?

この子
センス
ある

毎回楽しく
見させて
いただきました!

末恐ろしや...!

主に技術面での
アドバイスをしてきたけど...
大人になっても
楽しく描くこと
継続すること!
大人になっても
お絵描きを楽しんで
もらえる嬉しいな!

Bye!

ふおーていーず・ぼいす

スクランブル
変わるんだ!

時代の流れ
感じるねえ
ウチら最初
10代だったし

「ていーんず・
ぼいす」とか
2002年よ?

待てよ今
2026年
てことは:

2026-2002=24年前

千支
二回り
しとる...!

私:
40代ってもっと
大人だと
思ってたなあ...!

わかる...!

※楽しく作画したい都合上、若作りしてお送りしております

地域センター歴代所長さんに「スクランブル」のこと聞いてみた!

《桑谷所長》

大井第二地域センター所長着任歴
R5年4月～現在



大井第二地域センターでの思い出

これまでの仕事で、こんなに地域の皆さま方と密接した仕事に携わることができたのが、一番の思い出です。町会加入率や後継者問題、加入メリットなど町会が直面する課題は簡単には解決できません。しかしながら、日本の文化は地域の文化でもあります。来訪者が触れてみたくなる地域文化を継承していくため、地域の皆さまとともに地域センターも一丸となって思い出作りに励んでまいります。課題解決に向けた活動こそが地域センターの思い出であると考えております。

「スクランブル」と聞いて思い浮かべること

パッと思いつくのはスクランブル交差点やスクランブルエッグです。スクランブルという言葉には「ごちゃ混ぜにする」という意味がありますが、正に大井第二地区の地域誌「スクランブル」です。老若男女問わず誰もが読みやすい「ごちゃ混ぜ誌」であったように思います。社会の一員、地域の一員として一人ひとり誰もがごちゃ混ぜの中、お互いを尊重し生き生きと活動しています。これが本来の町会のあるべき姿なのかもしれません。

「スクランブル」最終号への思い

長きに渡りまして地域の様々な方々に「スクランブル」発行に携わっていただき、そしてタスキを繋いでいただきましたことに感謝申し上げます。「スクランブル」は地域の皆さまの手によって発行してまいりました温もりのある地域紙です。最終号では編集委員の皆さまの最後の編集、構成になります。携わっていただいております編集委員の皆さまの声もお届けできたら幸いです。

《小泉係長》

大井第二地域センター所長着任歴
H28年4月～R5年3月



大井第二地域センターでの思い出

歴代の編集委員の方はもちろん、青少年対策地区委員・民生委員・健康づくり推進委員の皆様、そして町会長をはじめとする町会の方々には大変よくしていただき、本当にお世話になりました。区民まつりや地区文化祭などの行事では、事務局である私もとても楽しませていただきました。在任中の7年間には大変なこともありましたが、とても良い環境と人間関係の中、心地よく仕事をさせていただいたことが良い思い出となっています。

「スクランブル」と聞いて思い浮かべること

ある年の地区文化祭でスクランブルを廊下から階段にかけて壁に貼りだしたことがありました。創刊号から最新号まで圧巻の眺めでした。記事をたどっていくと、その時々の大井第二地区の様子がよくわかり、見学に来ていた地域の方もすでに無くなってしまった光景の記事などを見て感慨深げに話をしていたのを覚えています。また、大井第二地区の地域ニュースではあるものの、地区外にも足を延ばす編集委員さんのフットワークの軽さ、毎回興味をそそられる内容は、プロが作る記事に勝るとも劣らないものだったと思います。

「スクランブル」最終号への思い

町の記憶の一助にもなっていた本紙がなくなるのはとても残念です。世の中は紙から電子媒体になっていくのですが、この地区にお住まいの方一人一人が「スクランブル」のエッセンスを受け継ぎ、その時々の方の様子や広く知っていただきたい情報をSNSなどで発信しこれからもこの地域を盛り上げていっていただければ嬉しいです。

《近藤係長》

大井第二地域センター所長着任歴
H21年4月～H28年3月



大井第二地域センターでの思い出

思い出は山のようにあります。何より思い出すのは多くの町会・学校行事に参加させていただき、皆さんに触れ合うことができたことです。区の職員が住民の方々とはこれほど深くかかわることは多くはないので、楽しく充実した7年間でした。よく覚えているのは失敗談で、青少年対策地区委員会行事のスキーで集合時間を間違えてしまったり(運良く定刻出発できました)、長時間ゴンドラに閉じ込められたりしましたが、無事スキー場のバスで送ってもらったことも思い出します。

「スクランブル」と聞いて思い浮かべること

皆さんお忙しいのにセンターに集まり編集会議を行い、フィールドでの取材もこなし、楽しい話題を提供して下さることにとっても感心していたことを覚えています。このような仕事は好きなので、編集会議にご一緒したかったのですが、立場上よくない影響があっはいけないので、じっと我慢していました(笑)。また、地域の子どもたちから提供された漫画もほっこりして印象深かったです。

「スクランブル」最終号への思い

終わってしまうのはとても残念でなりません。区役所でのデータ回覧もスクランブルだけは必ず見ていました。個性的で楽しくホッとさせる内容でした。前副区長から楽しい紙面だとお声掛けいただいたのを覚えています。長きにわたって発行できたのも、ひとえに編集に携わった方々や取材等にご協力いただいた地域の方々のおかげです。今後とも地域の益々の発展のためにご尽力いただければ幸いです。本当にありがとうございました。

スクランブル...という名前が誕生して38年、ここで一旦幕を閉じますが!!!

大井第二地区の情報誌の歴史は続くわけで、次号からは...

という名前が生まれ変わるのです♪ 大井第二地域センターの情報や各町会の行事のお知らせはもちろんのこと、児童センターや近隣の学校ニュースなどなど、今まで以上に楽しく役に立つ紙面になること間違いなし!

みなさま、新しい紙面を楽しみにしてくださいね♥

■お詫びと訂正■

第172号裏面「行ってみ隊が行く」で子どもたちが考えたクイズを掲載しましたが、大井第一小学校の校歌が作られたのは1950年でした。確認を怠りすみませんでした。

Oi2 すくらんぶる